

室内楽の夕べ

～源流を求めて Vol.2～

Viola

Shota Yanase



宮崎、北九州など音楽祭の参加、ベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏、室内楽シリーズ、サイトウキネンオーケストラ、ストリングカルテット ARCO、カルテット AT 水戸のメンバーを務めるなど室内楽奏者として活躍している。

愛知県岡崎市出身。3歳でチェロを始める。名古屋市立菊里高等学校、東京藝術大学を経て2003年渡仏、パリ国立高等音楽院チェロ科でP. ミュレールに師事し、07年にプルミエ・プリ（一等賞）および審査員特別賞をもって卒業。さらに09年スイス・ベルン芸術大学ソリスト・ディプロマコースを首席で卒業。また、04年より6年間イタリアのキジアーナ音楽院夏期マスタークラスでA. メネセスのクラスを受講し、最優秀ディプロマを取得。2005年第5回ルツワフスキ国際チェロ・コンクール第1位受賞。同年、第16回 FLAME 音楽コンクール（フランス）優勝。08年第1回 Note et Bien 国際フランス音楽コンクールでグランプリならびにドビュッシー特別賞、ブレーズ特別賞を受賞するなど、受賞多数。2010年より14年までフランス国立ポルドー・アキテヌ管弦楽団首席奏者を務めると共に、リサイタル、オーケストラとの共演、音楽祭出演など幅広い演奏活動を行う。帰国後はソリストとして活躍するほか、14年にアンサンブル「天下統一」（ヴァイオリン：長原幸太、ヴィオラ：鈴木康浩）を結成し定期的に演奏活動を行うなど、室内楽にも情熱を注いでいる。これまで共演したアーティストにはS. アッカル、B. ジュルナナ、A. メネセス、A. チュマチェンコ、C. イヴァルディ、E. ル・サージュが含まれる。キングレコードよりCD「美しき夕暮れ」および「J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲全曲」（「レコード芸術」誌・特選盤）をリリース。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。東京藝術大学音楽学部准教授。第11回名古屋音楽ペンクラブ賞受賞。使用楽器はNPO 法人イエロー・エンジェルより貸与されている1700年製ヨーゼフ・ガールネリ。Thomastik Infeld 社契約アーティスト。



Cello

©塩澤秀樹

愛知県岡崎市出身。3歳でチェロを始める。名古屋市立菊里高等学校、東京藝術大学を経て2003年渡仏、パリ国立高等音楽院チェロ科でP. ミュレールに師事し、07年にプルミエ・プリ（一等賞）および審査員特別賞をもって卒業。さらに09年スイス・ベルン芸術大学ソリスト・ディプロマコースを首席で卒業。また、04年より6年間イタリアのキジアーナ音楽院夏期マスタークラスでA. メネセスのクラスを受講し、最優秀ディプロマを取得。2005年第5回ルツワフスキ国際チェロ・コンクール第1位受賞。同年、第16回 FLAME 音楽コンクール（フランス）優勝。08年第1回 Note et Bien 国際フランス音楽コンクールでグランプリならびにドビュッシー特別賞、ブレーズ特別賞を受賞するなど、受賞多数。2010年より14年までフランス国立ポルドー・アキテヌ管弦楽団首席奏者を務めると共に、リサイタル、オーケストラとの共演、音楽祭出演など幅広い演奏活動を行う。帰国後はソリストとして活躍するほか、14年にアンサンブル「天下統一」（ヴァイオリン：長原幸太、ヴィオラ：鈴木康浩）を結成し定期的に演奏活動を行うなど、室内楽にも情熱を注いでいる。これまで共演したアーティストにはS. アッカル、B. ジュルナナ、A. メネセス、A. チュマチェンコ、C. イヴァルディ、E. ル・サージュが含まれる。キングレコードよりCD「美しき夕暮れ」および「J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲全曲」（「レコード芸術」誌・特選盤）をリリース。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。東京藝術大学音楽学部准教授。第11回名古屋音楽ペンクラブ賞受賞。使用楽器はNPO 法人イエロー・エンジェルより貸与されている1700年製ヨーゼフ・ガールネリ。Thomastik Infeld 社契約アーティスト。

Kenji Nakagi

柳瀬省太

気鋭の名手4人による

詩情溢れるフォーレをぜひご堪能ください。

中木健二

宮崎陽江

Yoé Miyazaki

Violon

幼少期をパリにて過ごし、3歳よりヴァイオリンを始める。堀正文、山口裕之、故江戸純子氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業後、同研究科一年修了。同年、ジュネーヴ高等音楽院にてジャン＝ピエール・ヴァレズ氏に師事し1997年、同音楽院をプルミエ・プリ（一等賞）にて卒業。在学中、モダン・バロック両楽器をハンス＝ハインツ・シュネーベルガー氏に師事。以来、日本とジュネーヴの拠点を生かし、欧州と日本を繋ぐ活動を展開。主要音楽祭に多数参加すると同時に、音楽DVD「源流を求めて」シリーズは衛星



©Takashi Matsuda

チャンネル・クラシカジャパンにて放送され、好評を博す。国内外でのソリストとしての活動は多岐にわたり、これまでにソリスト・ド・ジュネーヴ、ジュネーヴ室内管弦楽団、バス・ノルマンディー管弦楽団、スロヴァキアフィルハーモニー管弦楽団、北東ドイツ管弦楽団、デュッセルドルフ管弦楽団、国内では東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、読売日本交響楽団等と共演、また、矢崎彦太郎、秋山和慶、大友直人、レオシュ・スワロフスキー等名匠との共演を果たしている。バロックから近現代まで幅広いレパートリーをこなす室内合奏団・Yoé Productionsを立ち上げ、国内外のツアーを行うなど精力的に活動。自作曲を含むCD6枚をオクタヴィア・レコード（エイベックス）よりリリース、ライブ音源を収録したオリジナルレーベルCDも好評発売中。近年では、イタリアのカンボパッソ国立音楽院でマスタークラスを行う（2019年）など、後進の指導にも力を注いでいる。

バツハとフォーレの間（はざま）で想うもの。

あるいは深淵を垣間見ること…

パリと日本を拠点とする国際的ピアニスト。パリ、ザルツブルク、ジュネーヴ、ロンドン、ブリュッセル、バルセロナなどの都市の主要ホールで演奏するほか、その活動は北米、中南米、中近東からアジア諸国に及んでいる。ミュンヘン響、ベルリン室内管、N響、日本フィル、ウィーン弦楽四重奏団ほか、ピエール・アモイヤル、ヴェルナー・ヒンク各氏等の著名な演奏家との共演も多い。近年はザルツブルクの国際モーツァルテウム財団の企画するコンサートで度々フォルテピアノを演奏するなど、その活動の幅を拡げている。桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。仏政府給費留学生としてメシアン夫妻の招きで渡仏。パリ国立高等音楽院で一等賞、エコール・ノルマル音楽院で演奏家資格を取得、ヴィオッティ国際コンクールなどの数々の国際コンクールに上位入賞。96年から07年までバルセロナ・カレロ音楽院教授。ヴィオッティ国際コンクールでは審査員長を務めるなど多くの国際コンクールの審査員として、また各国でのマスタークラスの講師として度々招聘されている。

Piano



©Masuke Yoshida

菅野潤

Jun Kanno

宮崎 陽江



公式サイト



公式Facebook



公式Youtube

会場のご案内

札幌コンサートホール Kitara 小ホール

札幌市中央区中島公園1番15号

- 地下鉄 —— 南北線「中島公園駅」3番出口から徒歩約7分
- 地下鉄 —— 南北線「幌平橋駅」1番出口から徒歩約7分
- 市電 —— 「中島公園通」下車徒歩約4分
- ★ 駐車場はございません。お越しの際は、公共の交通機関をご利用ください。

交通のご案内

